

「田んぼの学校」いなご取りを開催

平成21年9月2日(水)、いわき市立夏井小学校と連携した「平成21年度田んぼの学校」で、稲の害虫となる虫を捕まえることや秋の自然とふれあうことを目的に、いなご取りを実施しました。

「田んぼの学校」とは、『ふくしまの農育』推進事業の一環として、一年間を通して水稲の作付けから収穫までを体験する環境教育事業で、主に5年生児童24名を対象に実施しています。

今回の活動は、夏井小学校の全校行事として開催され、1年生から6年生まで各学年混合の班分けで行いました。

児童たちは、あぜ道などで夢中になっていたいなごを見つけては捕まえていましたが、高学年になるほど捕まえるのが上手で、取ったいなごを下級生たちに分けてあげたり、取り方を教えたりと面倒を見ながら活動していました。

約1時間の活動で取ったいなごを計量したところ、全部で1kgにもなり、児童たちも満足のいく結果となったようです。

児童たちはいなご取りを通じて、地域の自然環境の豊かさや、生きものとふれあう楽しさを感じている様子でした。



食の安全・安心アカデミー(生産者コース)を開催

平成21年9月2日(水)及び10日(木)、県いわき合同庁舎において、15名の受講者により、「いわき地区食の安全・安心アカデミー(生産者コース)」を開催しました。

この講座は「食の安全・安心」の確保のため、農産物直売所、農産物加工所の構成員を対象として、生産者、食品製造・流通業者、消費者の相互理解の促進を図り、安全・安心な農産物等を提供するために必要な知識の習得を目的としています。

第1回目の9月2日は、各種アンケートによる消費者の意識動向、GAPと生産履歴記帳、農薬・肥料を減らすための栽培技術を研修し、「食品の安全・安心に向けた取組み」について情報交換を行いました。

第2回目の9月10日は、JAS法、食品衛生法、薬事法、景品表示法の各法律に基づく食品表示について説明を行い、直売所の表示用ラベルの実物を使用して、加工食品の「正しい表示方法」を検討しました。

受講者は、熱心に受講するとともに、活発に意見交換を行い、「食の安全・安心」に対する取組みへの強い意欲が感じられました。

講座修了後は、いわき農林事務所農業振興普及部長から受講者一人一人に受講済証を交付し、受講者は今まで以上に信頼される直売所、加工所のあり方について思いを新たにしました。



いわき地方鳥獣被害対策研修会を開催

平成21年9月4日(木)、上遠野公民館において、生産者など40名の参加による、「いわき地方鳥獣被害対策研修会」を開催しました。

最初に、県農業総合センター大槻主任研究員から鳥獣による被害防止対策と集落環境分析について実例を挙げた講演が行われました。

これに引き続き、鳥獣被害防止展示ほについて、いわき農林事務所の農業普及指導員から説

明し、さらに被害防止については、入遠野地区鈴木区長から説明が行われました。

出席者からは、イノシシ被害の防止対策等について具体的な質問があり、講師からは、集落ぐるみで生産者自ら侵入防止対策を行うことが必要であるとの説明が行われました。

その後、入遠野地区の現地において集落環境診断を行い、鳥獣被害の発生しやすい場所など

についての説明があり、参加者は鳥獣被害の対策について環境整備が重要であるとの認識を深めていました。



いわき市児童生徒木工工作コンクールが開催されました。

平成21年9月5日(土)、6日(日)の2日間、ヨークベニマル谷川瀬店2階催事場で、福島県木材青壮年協会いわき支部の主催、いわき市、磐城流域いわき地区林業活性化センターの後援により、木の良さを再発見するとともに、児童生徒の造形能力の発達を目的とした「第15回いわき市児童生徒木工工作コンクール」の展示会が開催されました。

コンクールには、いわき市内の小学校33校から934点の作品の応募があり、当日はその中から322点の作品が展示されました。展示会に先立ちコンクールの審査会が行われ、創意工夫により木の持つ質感が活かされた、いわき市立平第五小学校4年生の仲井友基さんと、いわき市立郷ヶ丘小学校6年生の折内悠太郎さんの2作品が特選であるいわき農林事務所長賞に選定されました。



(仲井 友基さんの作品「森の遊園地」)

また、このほかにも多くの作品が特選などの各賞に選定されました。

展示会には、親子連れや買い物客など約1,000人が来場し、自然木の風合いを取り入れた作品や大人顔負けの作品に見入っていました。

なお、優秀作品については、福島県児童生徒木工工作コンクールに推薦されるほか、10月24日(土)、25日(日)に郡山市で開催される福島県林業祭及び



(折内 悠太郎さんの作品「塩屋崎灯台」)

10月31日(土)、11月1日(日)の二日間に渡って開催されるいわき産業祭にも展示されますので、優秀な木工作品を是非ご覧ください。



アスパラガス現地検討会を開催

平成21年9月7日(月)、いわき市好間町の「浜通りにおけるグリーンベルト形成支援事業」実証ほにおいて、市内のアスパラガス生



産者など50名の参加により現地検討会を開催しました。

検討会では、いわき農林事務所の農業普及指導員から実証ほどの成果と化学

農薬軽減に向けた取り組みや「いわき市内堆肥供給者リスト」に基づき、アスパラガス栽培に欠かせない堆肥の活用方法について説明を行いました。

また、県農業総合センターの堀越主任研究員から、いわき市で問題となっている茎枯病の効果的な防除方法について説明があり、その後、生産者を中心に熱心な意見交換が行われました。

検討会終了後は、参加者から「今年度中のエコファーマー取得を目標にしよう」との声が上がり参加者一同うなずいていました。



今後も、いわき農林事務所では、エコファーマー取得の拡大に向けて、積極的に支援していくこととしています。

県林業コンクールにおいて 鈴木永一氏が間伐技術部門 で受賞

平成21年9月24日（木）、県主催による「福島県林業コンクール審査委員会」が開催され、当事務所から推薦した鈴木永一氏所有のスギ林2.05haが間伐技術部門で「県木材協同組合連合会長賞」を受賞しました。



このコンクールは、森林所有者の林業技術の向上と林業経営の改善を図り、本県林業の発展及び推進を目的に、造林技術部門や間伐技術部門、林業経営部門などの6部門について毎年開催されており、10月24日に郡山市で開催される林業コンクール等表彰式の席上で表彰される予定となっています。

鈴木氏は、柱材の生産を目標として、適正な間伐と作業路の整備により搬出経費節減にも取り組んでいます。また、地元森林所有者で構成される田人林研グループとの情報交換により計画的な森林整備を実施しています。

今回の受賞は鈴木氏の今後の林業経営にとって大きな励みとなることはもちろん、管内の間伐推進に大きく寄与することとなります。



今回の受賞は鈴木氏の今後の林業経営にとって大きな励みとなることはもちろん、管内の間伐推進に大きく寄与することとなります。

今回の受賞は鈴木氏の今後の林業経営にとって大きな励みとなることはもちろん、管内の間伐推進に大きく寄与することとなります。

今回の受賞は鈴木氏の今後の林業経営にとって大きな励みとなることはもちろん、管内の間伐推進に大きく寄与することとなります。

「食彩ふくしま地産地消推進店」認定証交付式を開催

平成21年9月29日（火）、県合同庁舎3階会議室において、「食彩ふくしま地産地消推進店」認定証交付式を開催しました。

「推進店」は、福島県が進める地産地消の趣旨に賛同し、県産農林水産物を積極的に利用したメニューの提供等を行い、県産農林水産物の

良さを一層県民に広めるための取り組みに協力していただける“飲食店”を認定するものです。

2年目となる平成21年度は、福島県全体で74店が新たに認定されました。このうち、いわき地区で認定された13店に対し、認定証と認定マークを交付しました。

また、交付式の後に行われた情報交換会では、新規認定店と昨年度認定を受けた中から4店の代表者が出席し、各店での地産地消の取り組み状況等の発表や意見交換を行い、今後の取り組みの参考としていただきました。

市内29の「推進店」では、県産農林水産物を積極的に利用したこだわりの地産地消メニューが提供されています。皆さまもお近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りいただき、その味をお楽しみください。

店名等詳しくは、いわき農林事務所のホームページをご覧ください。



「田んぼの学校」愛谷江筋教室を開催

平成21年9月29日（火）、いわき市立夏井小学校で、4年生児童20名が参加し、地域の水路や水源について学習する「田んぼの学校」愛谷江筋教室を開催しました。

この活動は、福島県が実施している『「ふくしまの農育」推進事業』と水土里ネット福島の「農業用水水源保全対策事業」が連携し、今年度の「田んぼの学校」実施校である夏井小学校の4年生児童を対象として開催しました。

当日は、小玉ダム、小川江筋堰、愛谷頭首工、愛谷江筋除塵機の4ヶ所の施設を見学し、各施設ごとに関係者から説明が行われました。

児童たちは施設の機能などについて積極的に質問するなど、意欲的に学習に取り組んでいま



した。

参加した児童たちは、地域の土地改良施設への愛着と、地域の農業や環境の形成に欠かせない施設の重要な役割と意義について改めて理解を深めていました。



「田んぼの学校」稲刈りを開催

平成21年9月30日（水）いわき市立夏井小学校で同校と連携した「平成21年度田んぼの学校」の第9回目の活動となる学習田の稲刈りを実施しました。

今回の稲刈りは学校行事としての活動で、1年生から6年生までの全員が順番に稲の刈り取



りを行いました。

1年生以外のほとんどの児童たちは既に前年までに稲刈りを経験しているため、手慣れた様子で稲

を刈り取り、小学校の体育館脇のフェンスに掛けて干しました。

5年生にとっては、自分たちで種をまき、これまで世話をしてきた稲の刈り取りのため感慨もひととおといった様子で、とても充実した「田んぼの学校」の活動となりました。



いわき農林事務所からのお知らせ

- ◎ いわき農業普及推進懇談会
期日：10月23日（金）
会場：県いわき合同庁舎
- ◎ 農業普及指導活動外部評価懇談会
期日：10月27日（火）
会場：県いわき合同庁舎
- ◎ 田んぼの学校（脱穀）、（発表会、収穫祭）
期日：11月5日（木）、28日（土）
会場：夏井小学校
- ◎ 農産物直売所合同フェア
期日：11月14日（土）10:00～15:00
会場：小名浜さんかく倉庫
- ◎ いわき市農業担い手育成講演会
期日：11月17日（火）
会場：JAいわき市

☆新型インフルエンザ予防対策として、所内各部の入口付近に、手指用の**アルコール消毒液**を配備しましたのでご利用願います。（今後也十分な予防が重要です。）



※日程等の詳細は、後日ホームページ、広報紙等でお知らせします。

◎ 皆様からのご意見・情報をお待ちしております。

福島県いわき農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒970-8026 いわき市平字梅本15番地 Tel (0246)24-6197 Fax (0246)24-6196

URL <http://www.pref.fukushima.jp/norin-iwaki/>

E-Mail iwaki.nourin@pref.fukushima.jp



iwaki.nourin@pref.fukushima.jp